

活動報告（8月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 生産振興課

表題：他産地のイチゴ新系統‘20-5-5’の現地試験ほ場を巡回しました

日時：令和7年8月27日（水）

場所：静岡県掛川市



【現地試験ほ場訪問の様子】

8月27日（水）に、管外農協における本県育成イチゴ新系統‘20-5-5’の現地試験ほ場を訪問しました。

近年の夏季高温により、イチゴの花芽分化が遅れ、年内収量が減少している中、当系統は極早生であるため、高単価が見込める年内収量の増加が期待できます。

西部農林事務所管内において、今年度2人の生産者が現地試験を実施していることから、他産地の生育状況等を把握するため、巡回に参加しました。

JA掛川市の生産者を訪れ、育苗後期の苗状態や管理について理解を深めました。

また、JA掛川市では、イチゴ収穫期に果実を保管するJA所有の保冷库を、育苗期に夜冷施設として活用していました。

今作は6人の生産者が利用しており、苗を夜冷することで、花芽分化の前進を狙います。

イチゴは県内全域で生産されており、本現地試験は10農協で実施中です。今後も他産地の情報を把握して、管内の生産者やJA担当者に繋げ、比較検討や現地適応性を確認していきます。